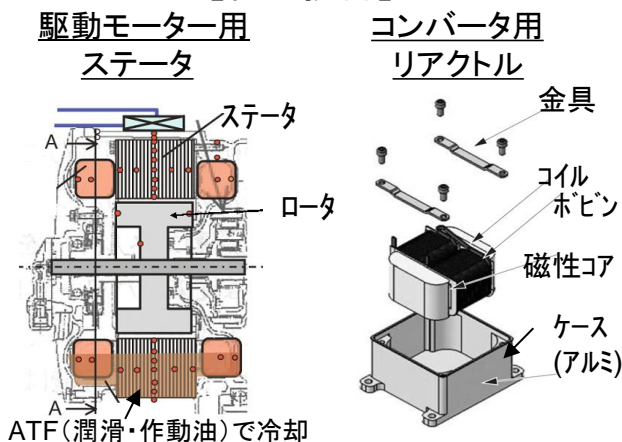


計画名：次世代自動車部品用の新規高熱伝導性
複合材料分散液の研究開発

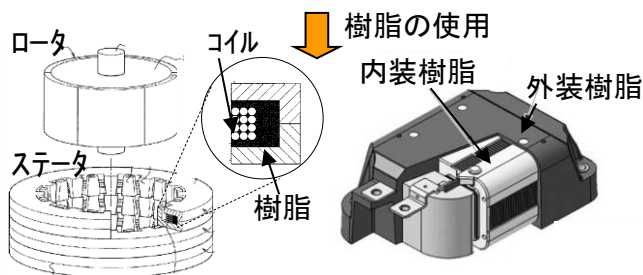
- 認定事業者：株式会社高木化学研究所（愛知県）
- 共同研究者：国立大学法人豊橋技術科学大学（愛知県）
国立大学法人鹿児島大学（鹿児島県）
あいち産業科学技術総合センター（愛知県）
- アドバイザー：国立大学法人豊橋科学技術大学（愛知県）
東海エレクトロニクス株式会社（愛知県）
- 事業管理機関：一般財団法人金属系材料研究開発センター（東京都）
- 主たる技術：(九)複合・新機能材料に係る技術
- 研究開発概要：

次世代自動車の普及により駆動モーター及びコンバータの小型化・高性能化・軽量化が進み、それに用いるステータ及びリアクトルのコイル部の放熱の問題が喫緊の課題となっている。自動車に求められる放熱性、電気特性、高強度、耐熱性、耐久性、接着性、低コスト化等の様々な要求を満足するコイル部の発熱を抑えた新規なステータ及びリアクトルの開発を目指し、コイル部への注入成形ができる新規高熱伝導性複合材料分散液を開発する。

【従来技術】



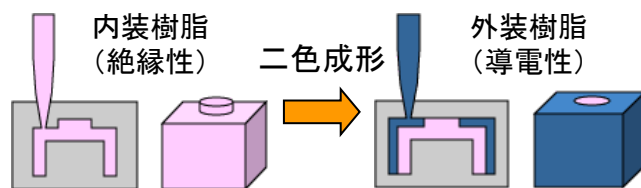
<構造が複雑、部品点数が多い>



<要求に合った優れた樹脂がない>

【新技術】

<優れた絶縁・導電性樹脂分散液の研究開発>



<研究開発内容>

1. 分散安定性、流動性等の性能に優れた高熱伝導性複合材料分散液の研究開発
2. 熱伝導性及び電気特性に優れた高熱伝導性複合材料の研究開発
3. 耐衝撃性、耐熱性及び熱サイクル性に優れた高熱伝導性複合材料分散液の研究開発
4. リアクトル用モールド樹脂成形加工技術の確立
5. ステータ用モールド樹脂成形加工技術の確立
6. 環境配慮、省エネルギー及び低コスト化の研究開発並びに販路開拓